



沖縄の現状とゆくえ

第39回 金子勝憲法講座

『琉球独立論』の著者 龍谷大学教授



第1部 松島泰勝さんの講演

「憲法の語り部に」を提唱し全国行脚 立正大学名誉教授



第2部 金子勝さんと対談

お二人のプロフィール・賛同団体 は 裏面をご覧ください

日時

2015年 7月4日(土) 午後1時半~5時

会場

豊橋愛知大学記念会館 3階 小講堂 駐車場あり

資料代

1000円 チケット販売中 障がい者500円

日本のどこにも

基地はいらない

沖縄県民は昨年末の知事選挙と総選挙で明確に新基地ノ一の審判をくだしました。知事選では一〇万票の大差をつけて翁長知事を誕生させ、続く総選挙では県内四つの小選挙区で「オール沖縄」候補が勝利、基地容認の自民党候補を落選させました。にもかかわらず日本政府は、いやがらせのように翁長知事との面会を拒否したまま、沖縄の民意を無視して辺野古での新基地建設のための海上工事を強行しています。

国土面積のわずか〇・六%の沖縄県に、米軍基地が七四%集中している現実。「沖縄のこと」ではなく、日本国民全体で考えなければならぬ問題です。

「沖縄の現状とゆくえ」の中では松島泰勝さん著「琉球独立論」も熱く語っていただきます。

対談とともに学び、考え、行動しましょう。

主催：金子勝憲法講座実行委員会・愛知大学9条の会

プロフィール

松島泰勝さん

【経歴】

1963年琉球・石垣島生まれ。石垣島、南大東島、与那国島、沖縄島那覇で育つ。那覇高校、早稲田大学政経学部卒業後、早稲田大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。博士（経済学）。在ハガツニヤ（グアム）日本国総領事館、在パラオ日本国大使館において専門調査員として勤務。東海大学海洋学部准教授を経て、現在、龍谷大学経済学部教授。2007年にNPO法人ゆいまーる琉球の自治代表、2013年に琉球民族独立総合研究学会の共同代表に就任。

【著書】 単著として

『沖縄島嶼経済史：12世紀から現在まで』（単著、藤原書店、2002年）

『琉球の「自治」』（単著、藤原書店、2006年）

『ミクロネシア：小さな島々の自立への挑戦』（単著、早稲田大学出版部、2007年）

『島嶼沖縄の内発的発展：経済・社会・文化』（編著、藤原書店、2010年）

『琉球独立への道：植民地主義に抗う琉球ナショナリズム』（法律文化社、2012年）

『民際学の展開：方法論・人権・地域・環境からの視座』（編著、晃洋書房、2012年）

『琉球列島の環境問題：「復帰」40年・持続可能なシマ社会へ』（編著、高文研、2013年）

『3・11以後何が変わらないのか』（岩波ブックレットNo.863）（共著、岩波書店、2013年）

『琉球独立論：琉球民族のマニフェスト』（バジリコ、2014年）

『琉球独立：御真人の疑問にお答えします』（Ryukyu企画、2014年）

『島嶼経済とコモンズ』（編著、晃洋書房、2015年）

金子 勝さん

【経歴】

1944年 名古屋市生れ。愛知大学法経学部法学科、同大学院法学研究科修了。

1971年 立正大学教養部講師

1995年 立正大学法学部教授 専門は憲法学、政治学、社会科学概論。

2014年3月 立正大学 定年退職

2014年4月 立正大学名誉教授

【著書】

『社会科学の構造』（勁草書房、1986年）・『日本国憲法の原理と「国家改造構想」』（勁草書房、1994年）、『社会科学の世界』（勁草書房、1999年）・『一鈴木安蔵先生から受け継ぐ物一鈴木安蔵、生誕百年記念シンポジウムの記録』（金子勝発行、2005年）・『憲法？』

共著（本の泉社、2006年）・『憲法の論理と安保の論理』（勁草書房、2013年）

【賛同団体】 50音順

愛知県高等学校教職員組合東三河支部・九条の会（愛知大学・奥三河・健生すこやか・とよかわ・東三河）コープあいち・国民救援会東三河支部・週刊金曜日東三河読者会・新日本婦人の会豊橋支部、新日本婦人の会豊川支部・豊橋演劇鑑賞会・豊川市職員労働組合・豊橋市職員労働組合・豊橋民主商工会・年金者組合豊橋・田原支部・東三河労働組合総連合・自由法曹団東三河支部・豊橋情報公開をすすめる会

【愛知大学記念会館・アクセス】

◆公共交通機関 新豊橋駅前から豊鉄渥美線「愛知大学前」まで6分 下車
愛知大学副門より会場の記念会館まで徒歩3分

◆自家用車 「時習館高校」正門、東向側「愛知大学正門」から入校
駐車場は記念会館会場の前、立体駐車場